

## 水資源機構 低入札価格審査委員会 審議概要

平成22年度第7回低入札価格審査委員会については、下記の通り書類の回議をもって審議が行われた。

開催日：平成23年3月3日～11日

### 委員

委員長 小澤 一雅 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授  
尾野村 祐治 ジャーナリスト  
高田 敏明 弁護士

(五十音順敬称略)

### 議 事 1：【利根川河口堰管理用制御処理設備工事の調査結果について】

調査結果：低入札価格調査制度における重点調査を評価値第1位の者について行った。その結果、評価値第1位の者については、以下の理由から契約の内容に適合した履行が可能と判断する。

- ・ 機器価格の妥当性については、機器の品質低下を招かないように適切に設定されていることが資料及び説明により確認できた。
- ・ 品質管理体制の妥当性については、設計管理、工程管理及び検査・試験のすべてについて実施体制を資料及び説明により確認した。また、この中で元請会社の見込額についても適切に計上されていることを確認した。
- ・ 直接工事費のうち、下請業者が施工する設置工等については、見積徴収に当たって、特記仕様書を元に施工内容などの説明が適切に行われており、仕様通りの施工がなされることなどを確認した。また、自社社員で行う動作検証に係る費用については、直接工事費、機器間接費等に計上されていることを資料及び説明により確認した。
- ・ 下請業者への支払額の妥当性については、下請業者の提出した見積書の金額が、直接工事費、機器間接費等に計上されていることを資料及び説明により確認した。また、下請業者の労務者は、施工する工種に適合した者を配置する計画とされており、労務者単価についても、その職種に応じた単価となっていることを資料及び説明により確認した。

#### 審議の概要

- ・ 調査結果は妥当であると考えられる。
- ・ 工事費内訳書を作成する際の各費目における計上項目については、入札に参加する業者に対して十分に周知する必要がある。

### 議 事 2：【大規模地震対策宇連ダム取水設備整備工事の調査結果及び対処方針について】

て】

調査結果等：低入札価格調査制度における重点調査を評価値第1位から第4位の者について並行して行った。調査の過程における、低入札価格審査委員会の意見を踏まえて検討した結果、次のとおり対処することとする。

評価値第1位の者については、間接労務費及び工場管理費に計上したとされている製作品に係る下請業者の見積金額が明確に確認できず、また、一般管理費等においても計上を確認できないなどの費用があることから、当該契約の内容に適合した履行がされるとは判断できない。また、評価値第2位から第4位の者についても、低入札価格調査制度における重点調査の結果、未計上の費用が確認されるなどしたことから、当該契約の内容に適合した履行がされるとは判断できない。

以上のことから、評価値第5位の者を落札者とする。

#### 審議の概要

- ・評価値第1位の者の間接労務費等については、業者の説明は、外注によって安くなっているということであるが、下請業者の見積金額が明確に確認できないことなどから、説明として十分ではないと考える。